

作成日 2006 年 8 月 14 日

改訂日 2022 年 10 月 18 日

安全データシート

1. 【 化学品及び会社情報 】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 製品名 | レナパック水和剤 |
| 供給者の会社名称 | 丸和バイオケミカル株式会社 |
| 住所 | 東京都千代田区神田須田町 2-5-2 |
| 担当部門 | 開発本部 登録・環境グループ |
| 電話番号 / FAX | Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323 |
| 推奨用途 | 除草剤 |
| 使用上の制限 | 農薬登録以外の使用は不可 |
| 整理番号 | 9979-06 |

2. 【 危険有害性の要約 】

化学品の GHS 分類(分類 JIS)

| | | |
|-------|-----------------|------------------|
| 健康有害性 | 急性毒性(経口) | 区分 4 |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分 2 |
| | 発がん性 | 区分 1A |
| | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分 2(免疫系、呼吸器、腎臓) |
| 環境有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | 区分 1 |
| | 水生環境有害性 長期(慢性) | 区分 1 |

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 長期にわたる、または反復ばく露による免疫系、呼吸器、腎臓の障害のおそれ

注意書き 【安全対策】

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
 使用前に取扱説明書入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じんを吸入しないこと。
 取扱後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
 気分が悪い時は医師の診察/手当てを受けること。
 口をすすぐこと。

【保 管】

漏出物を回収すること。
 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

3. 【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 レナシル：
3-シクロヘキシル-5,6-トリメチレンウラシル
PAC(クロリダゾン)：
1-フェニル-4-アミノ-5-クロロピリダゾン-6
5-アミノ-4-クロロ-2-フェニルピリダジン-3(2H)-オン(IUPAC)

| 成分及び含有量 | | 化審法 No. | 安衛法 No. | CAS No. |
|-------------|-------|---------|---------|------------|
| <有効成分> | | | | |
| レナシル | 40.0% | (5)-914 | | 2164-08-1 |
| PAC(クロリダゾン) | 30.0% | | | 1698-60-8 |
| <その他> | | | | |
| 分散剤、鉱物質微粉等 | 30.0% | | | |
| (結晶質シリカ | <10%) | (1)-548 | | 14808-60-7 |

4. 【応急措置】

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡する。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除く。皮膚を水で洗う。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合 直ちに医師/中毒情報センターに連絡する。口をすすぐ。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
ばく露による二次災害の防止。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

5. 【火災時の措置】

適切な消火剤 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤 火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避ける。

火災時の特有の危険有害性 火災時に有害ガスが発生するおそれがある。

特有の消火方法 消火作業は、風上から行う。
火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材

二次災害の防止策

作業者は適切な保護具(『8. 【 ばく露防止及び保護措置 』』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。
大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて、紙袋又はドラム缶等に回収する。
回収後の少量の残留物は、土砂又はおがくず等に吸収させる。
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い

技術的対策

『8. 【 ばく露防止及び保護措置 』』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

接触回避

『10. 【 安定性及び反応性 』』を参照。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする事。

作業衣を家に持ち帰ってはならない。

保管

安全な保管条件

冷所、換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 【 ばく露防止及び保護措置 】

| | 管理濃度 | 許容濃度 (産衛学会) | 許容濃度 (ACGIH) |
|------------|--|---------------------------------------|--|
| レナシル | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| クロリダゾン/PAC | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| 鉱物性粉じん | E=3.0/(1.19Q+1) E 管理濃度(mg/m ³) Q 遊離けい酸含有率 (%) | 0.03 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ) | TWA 0.025 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ) |

設備対策

取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

取扱場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

防じんマスク

手の保護具

保護手袋

眼、顔面の保護具

保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)、保護面

皮膚及び身体の保護具

保護服、保護長靴

9. 【 物理的及び化学的性質 】

物理状態

固体

色

類白色

臭い

情報なし

| | |
|--------------------------|-------------|
| 融点/凝固点 | 情報なし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | 情報なし |
| 可燃性 | 情報なし |
| 爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界 | 情報なし |
| 引火点 | 情報なし |
| 自然発火点 | 情報なし |
| 分解温度 | 情報なし |
| pH | 9.0(×5) |
| 動粘性率 | 情報なし |
| 溶解度 | 情報なし |
| n-オクタノール/水分配係数 (log値) | 情報なし |
| 蒸気圧 | 情報なし |
| 密度及び/又は相対密度 | 0.37(見掛け比重) |
| 相対ガス密度 | 情報なし |
| 粒子特性 | 45µm 以下 |

10. 【 安定性及び反応性 】

| | |
|------------|--|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。 |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。 |

11. 【 有害性情報 】

| | |
|----------------------|---|
| 急性毒性(経口) | ラット LD ₅₀ : 300<♀ ≤2000mg/kg のため、区分 4 とした。 |
| 急性毒性(経皮) | ラット LD ₅₀ : ♂ ♀ >2000mg/kg(区分に該当しない) |
| 急性毒性(吸入) | 情報が十分でない(分類できない) |
| 皮膚腐食性/刺激性 | ウサギ: 刺激性なし(区分に該当しない) |
| 眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性 | ウサギ: 極軽度の刺激性(区分に該当しない) |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 呼吸器感作性 情報が十分でない(分類できない) 皮膚感作性 モルモット: 感作性なし(区分に該当しない) |
| 生殖細胞変異原性 | 本製品は鉍物質微粉として天然の鉍物を含み、その中に区分 2 の石英(結晶質シリカ)を 1.0%以上含むため、区分 2 とした。 |
| 発がん性 | 本製品は鉍物質微粉として天然の鉍物を含み、その中に区分 1A の石英(結晶質シリカ)を 0.1%以上含むため、区分 1A とした。 |
| 生殖毒性 | 情報が十分でない(分類できない) |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 情報が十分でない(分類できない) |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 本製品は鉍物質微粉として天然の鉍物を含み、その中に区分 1 (免疫系、呼吸器、腎臓)の石英(結晶質シリカ)を 1.0%以上 10% 未満含むため、区分 2(免疫系、呼吸器、腎臓)とした。 |
| 誤えん有害性 | 情報が十分でない(分類できない) |

12. 【 環境影響情報 】

生態毒性

魚類

コイ LC₅₀(96h):287mg/L

甲殻類

オオミジンコ EC₅₀(48h):279mg/L

藻類

緑藻 ErC₅₀(72h):0.030mg/L

短期(急性):藻類のErC₅₀値より、区分1とした。

長期(慢性):急性区分1であり、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分1とした。

残留性/分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報が十分でない(分類できない)

13. 【 廃棄上の注意 】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄に当たっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 【 輸送上の注意 】

国連番号

3077

品名(国連輸送名)

環境有害物質(固体)(レナシル)

国連分類

9(有害性物質)

容器等級

III

海洋汚染物質

該当

輸送又は輸送手段に関する

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

労働安全衛生法、船舶安全法、航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

171

15. 【 適用法令 】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

農薬取締法

第 9979 号

化学物質排出把握管理促進法
(化管法)

クロリダゾン(PAC)(第1種)

労働安全衛生法

第 57 条 表示対象物、第 57 条の 2 通知対象物
結晶質シリカ(政令番号165-2)

毒物及び劇物取締法

該当なし

消防法

該当なし

16. 【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

事故に伴い急性中毒の恐れがある場合

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

| | 一般市民専用電話 (通話料のみ) | 医療機関専用有料電話 (1件につき2000円) |
|--------------------------------|---------------------|----------------------------|
| 大阪中毒110番 (年中無休、24時間対応) | 072-727-2499 | 072-726-9923 |
| つくば中毒 110 番 (年中無休、9～21 時対応) | 029-852-9999 | 029-851-9999 |

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常の実施を対象としております。